

# 川越市交通政策審議会

---

## 平成31年度第1回審議会資料

【報告事項】

1. デマンド型交通における地区3（霞ヶ関、霞ヶ関北、川鶴、名細、山田、本庁の一部）の稼働状況について

【審議事項】

1. デマンド型交通における平成31年度実施地区の選定について

平成31年4月10日（水）

---

川越市都市計画部交通政策課

# 報告事項 1. デマンド型交通における地区3（霞ヶ関、霞ヶ関北、川鶴、名細、山田、本庁の一部）の稼働状況について

## 1-1. 川越市デマンド型交通運行開始記念式典の実施、運行車両装備及びカテゴリ別乗降場設置数



平成31年2月17日、笠幡駅において記念式典が行われ、翌日2月18日から運行が開始となりました。

### 【運行車両装備】



車椅子用リフト



### 【カテゴリ別乗降場設置数】

番号	カテゴリー	乗降場数
1	医療施設	25
2	商業施設等	13
3	医療施設/商業施設等	1
4	公共施設	14
5	公共施設/商業施設等	2
6	交通結節点	6
7	交通結節点/商業施設等	1
8	地域内（交通空白地域内）	60
合計		122

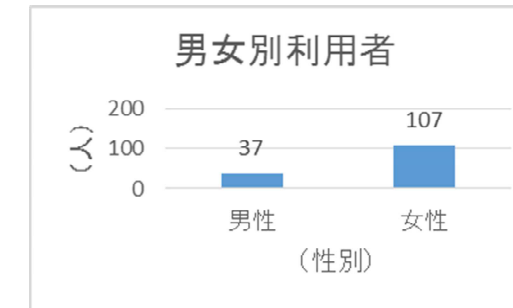
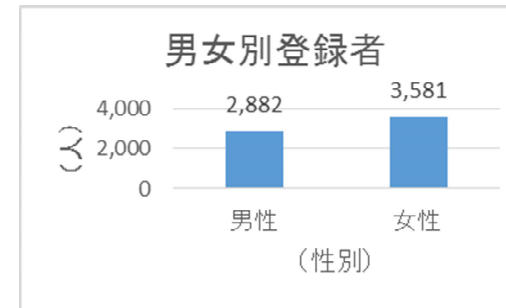
**1-2. 運行開始から1ヶ月間（平成31年2月18日～同年3月18日）の稼働状況について**

平成31年2月18日に地区3の運行が開始され、運行開始から1ヶ月間（平成31年2月18日～同年3月18日）の稼働状況等について報告します。

**【登録者及び利用者数】**

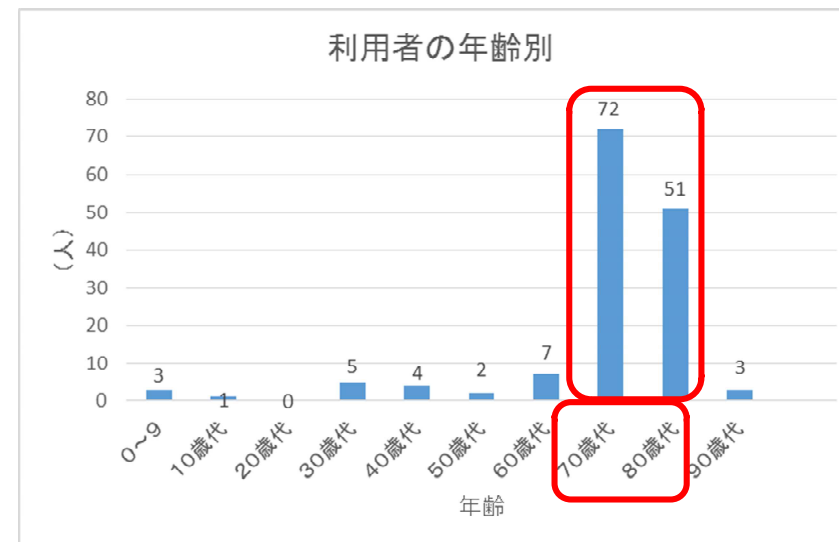
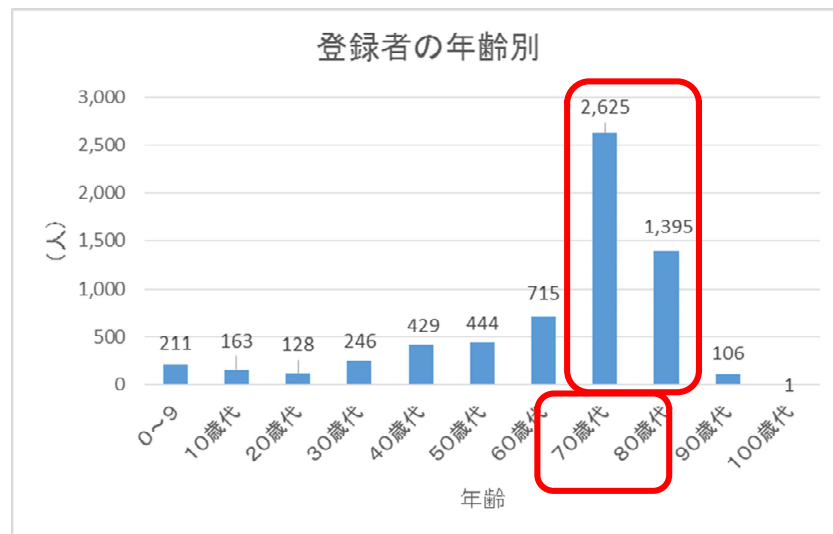
①男女別登録者及び利用者数（3月18日現在）

	単位	登録者	利用者（実人数）
男性	人	2,882	37
女性	〃	3,581	107
合計	〃	6,463	144



- ・登録者の割合は、男性が44.6%、女性が55.4%
- ・利用者の割合は、男性が25.7%、女性が74.3%

②登録者及び利用者の年齢別



<傾向>

登録者、利用者とも70歳代・80歳代の分布が多いことが分かります。

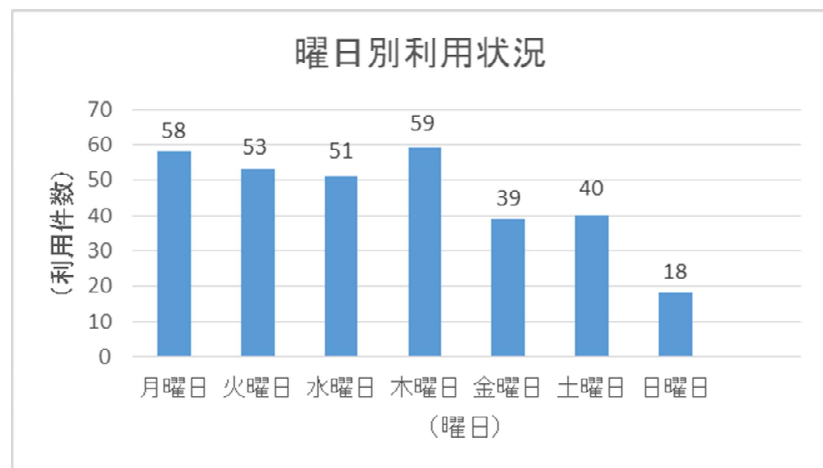
**【利用状況】**

①予約件数及び1日平均予約件数（※予約件数とは、登録者の延べ利用回数（総数）を示すものです。）

予約件数 318件（29日間） 1日平均予約件数 約11件

※29日間のうち、1日の最多予約件数は22件

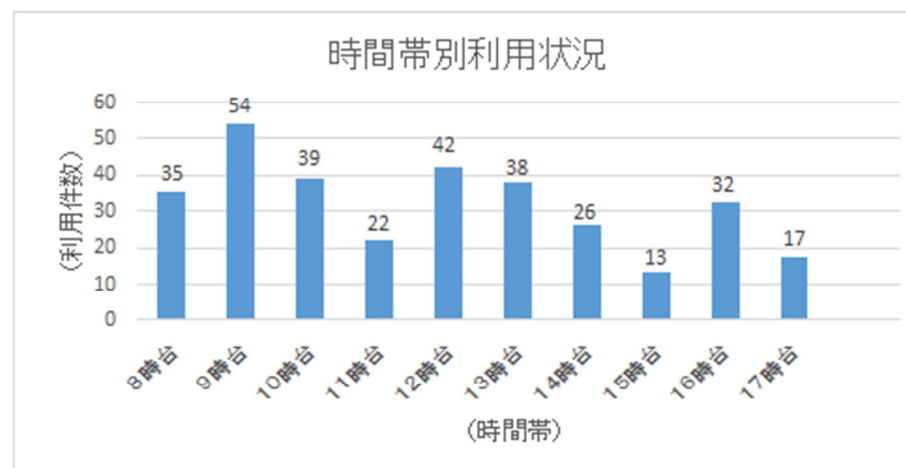
②曜日別利用件数



<傾向>

平日の利用が多く、土日の利用が少ない傾向にあります。

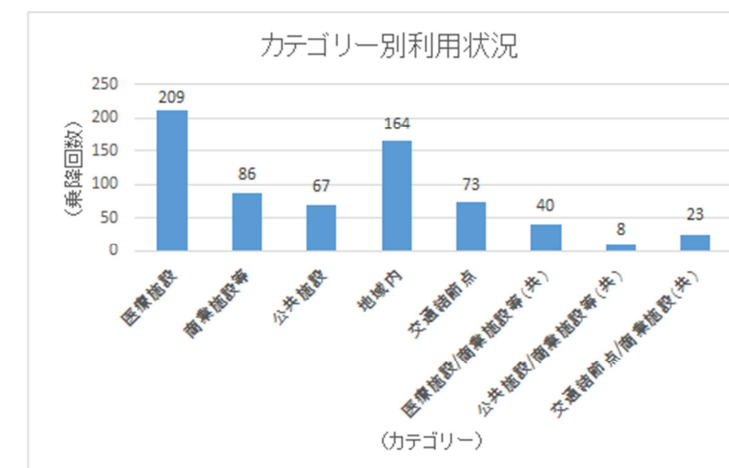
③時間帯別利用件数



<傾向>

午前中の利用が多く、夕方は利用件数が少ない傾向にあります。

④カテゴリ別乗降回数



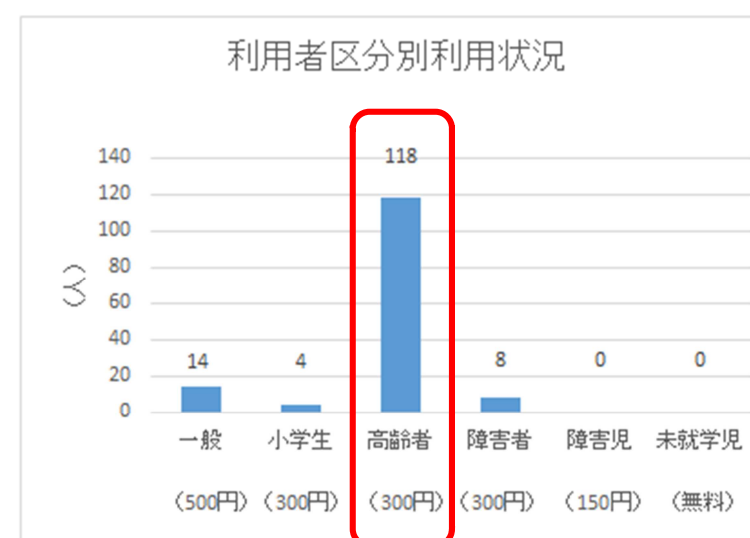
<傾向>

医療施設の利用が多く見受けられます。

⑤利用者区別人数（料金区分別）

利用者区分	人数	構成比 (%)
一般	14	9.7
小学生	4	2.8
高齢者	118	81.9
障害者	8	5.6
障害児	0	0.0
未就学児	0	0.0
合計	144	100.0

(※70歳以上の障害者は障害者に分類)



- ・車椅子の利用は、1名・1乗車でした。
- ・介助者の同乗利用は、1名・1乗車でした。



⑥乗車回数の多い乗降場

順位	乗降場名	カテゴリー	利用回数
1	B6:霞ヶ関南病院	医療施設	25
2	B5・A15:岸病院/名細郵便局	医療施設・商業施設等	19
3	名9:小堤東団地入口	地域内乗降場	16
4	D7:かすみ野	交通結節点	14
5	霞3:大笠自治会館前	地域内乗降場	13
6	霞2:のぞみ幼稚園入口	地域内乗降場	13
7	A2:エコスタIRAYA川越霞ヶ関店/川越霞ヶ関北郵便局	商業施設等	12
8	B21:鈴木脳神経外科	医療施設	12
9	D4:鶴ヶ島駅	交通結節点	10
10	A17:川越笠幡郵便局	商業施設等	9
10	C3:霞ヶ関北市民センター	公共施設	9

⑦降車回数の多い乗降場

順位	乗降場名	カテゴリー	利用回数
1	B6:霞ヶ関南病院	医療施設	38
2	D4:鶴ヶ島駅	交通結節点	21
3	B5・A15:岸病院/名細郵便局	医療施設・商業施設等	20
4	B2:池袋病院	医療施設	19
5	D5・A7:霞ヶ関駅/サミットストア霞ヶ関店	交通結節点・商業施設等	16
6	B17:西部診療所	医療施設	13
7	C8:西文化会館（メルト）	公共施設	13
8	B21:鈴木脳神経外科	医療施設	12
9	名9:小堤東団地入口	地域内乗降場	10
9	霞2:のぞみ幼稚園入口	地域内乗降場	10
9	B4:康正会総合クリニック	医療施設	10

⑧乗降回数の多い乗降場

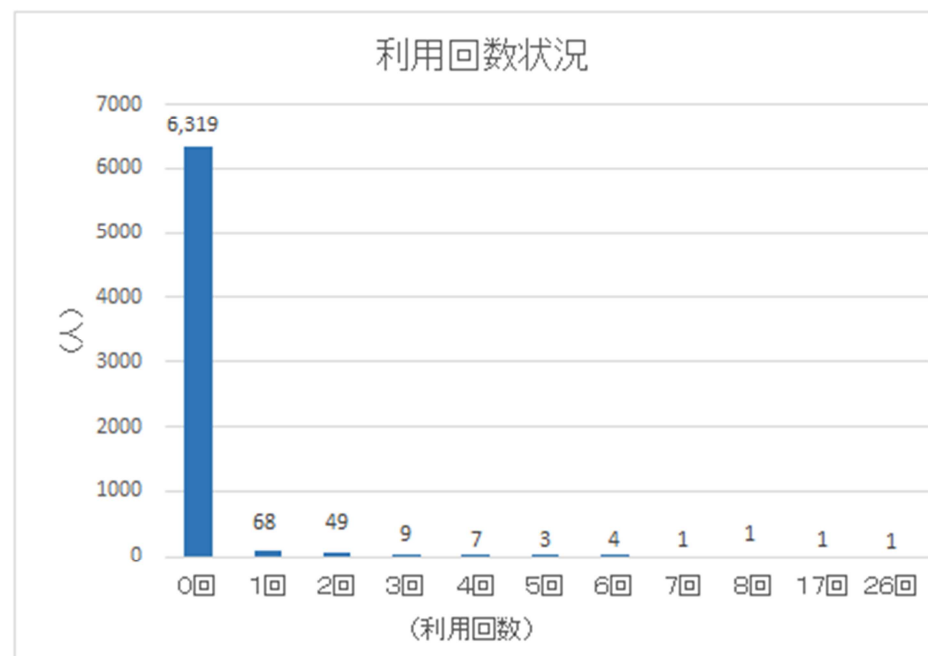
順位	乗降場名	カテゴリー	利用回数
1	B6:霞ヶ関南病院	医療機関	63
2	B5・A15:岸病院/名細郵便局	医療機関/商業施設等	39
3	D4:鶴ヶ島駅	交通結節点	31
4	B2:池袋病院	医療機関	27
5	名9:小堤東団地入口	地域内乗降場	26
6	B21:鈴木脳神経外科	医療機関	24
7	D5・A7:霞ヶ関駅/サミットストア霞ヶ関店	交通結節点/商業施設等	23
8	霞2:のぞみ幼稚園入口	地域内乗降場	23
9	B17:西部診療所	医療機関	21
10	C8:西文化会館（メルト）	公共施設	20
10	霞3:大笠自治会館前	地域内乗降場	20

<傾向>

- ・霞ヶ関南病院の利用が多いことが分かります。
- ・赤枠で囲んでいる乗降場は地域内乗降場であり、交通空白地域に設置した乗降場が使用されていることが分かります。

⑨利用回数別人数（利用者がこの期間に予約した件数）

利用回数区分	人数	予約件数	構成比 (%)
0回	6,319	0	97.8
1回	68	68	1.1
2回	49	98	0.8
3回	9	27	0.1
4回	7	28	0.1
5回	3	15	0.0
6回	4	24	0.1
7回	1	7	0.0
8回	1	8	0.0
17回	1	17	0.0
26回	1	26	0.0
合計	6,463	318	100.0



<傾向>

- ・この期間において最もデマンド型交通を利用した方は、26回（1人）でした。
- ・登録は行ったものの利用していない人が、約98%となっていることから、現在、他の交通手段で移動していることが予測され、今後の移動手段の確保を考えて登録を行ったことが考えられます。

## 審議事項 1. デマンド型交通における平成31年度実施地区の選定について

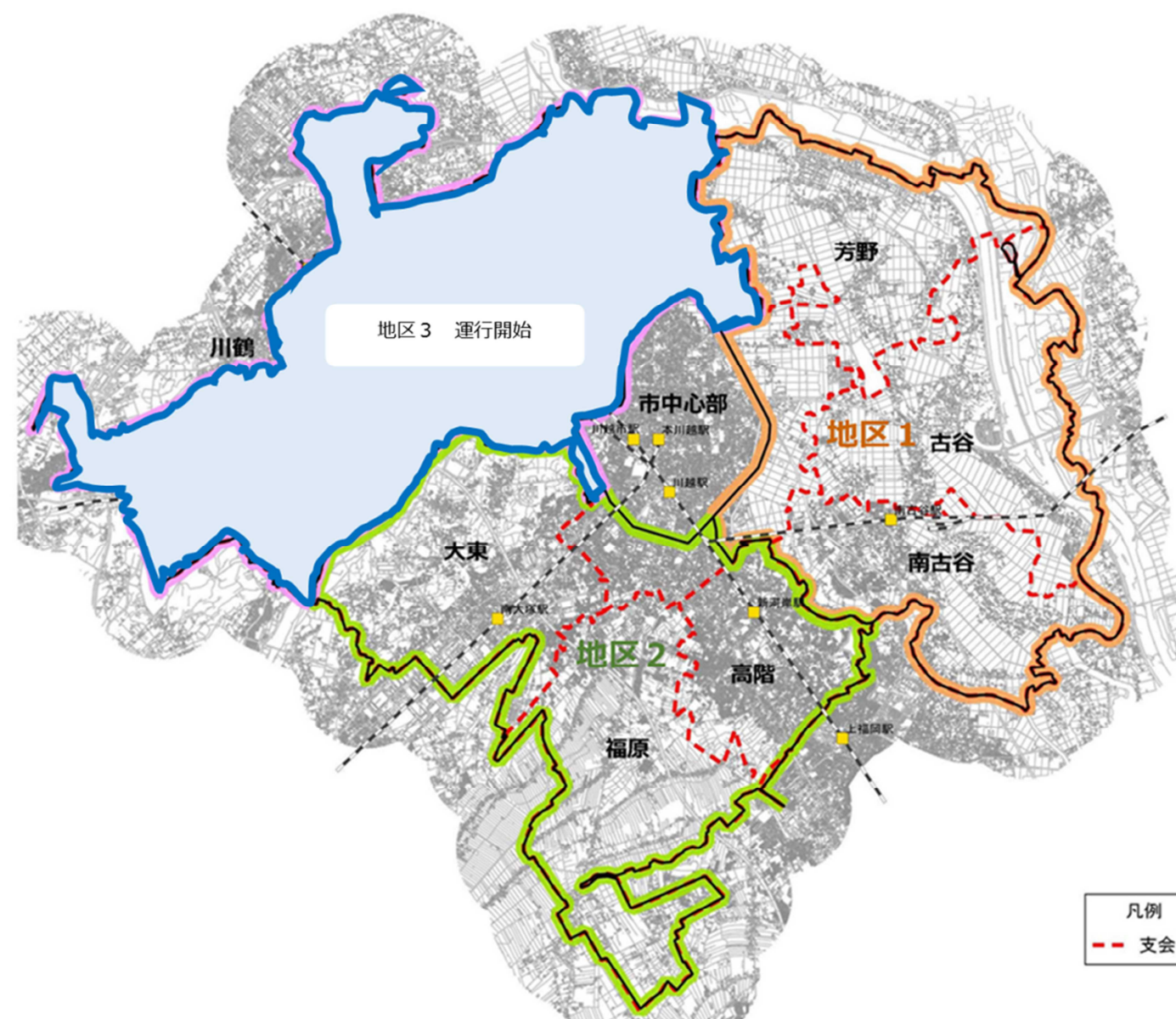
### 2-1 平成31年度実施地区の選定について

#### (1) 経緯

平成30年4月10日に、川越市交通政策審議会長から川越市長に、新たな交通施策に関する答申を行い、デマンド型交通の実施地区につきましては、「平成30年度中に、地区3の1地区の運行開始を目指すこととする。残りの2地区については、運行開始に関する準備を進め、準備が整い次第、運行を開始することとする。」との内容でした。

答申後は、本市において、「平成30年度中に、地区3の1地区の運行開始を目指すこととし、残りの2地区については、運行開始に関する準備を進め、準備が整い次第、運行を開始する」との決定を行い、平成31年2月に地区3の運行を開始することとなりました。

■各地区の運行区域図









■比較表（地区1と地区2）

条件及び検討指標		地区1	地区2
支会		芳野・古谷・南古谷・本庁管内の一部を含む	高階・福原・大東・本庁管内の一部を含む
地域面積※1		3,508ha	3,201ha
人口※2		45,465人	130,069人
65歳以上の人口（高齢化率）※2		10,447人（23.0%）	32,934人（24.9%）
75歳以上の人口（高齢化率）※2		4,056人（8.9%）	13,363人（10.3%）
世帯数※1		17,014世帯	53,957世帯
交通空白地域	面積※1	1,253ha	1,343ha
	人口※2	17,153人	25,763人
	65歳以上の人口（高齢化率）※2	3,888人（22.7%）	6,879人（26.7%）
	75歳以上の人口（高齢化率）※2	1,619人（9.4%）	2,878人（11.2%）
	世帯数※2	5,862世帯	9,711世帯
需要量※3		20.0人/日	32.7人/日
平成30年4月の川越シャトルの路線見直し等に伴う地区における路線廃止や新設の状況		新規路線（41系統）の運行により、交通空白地域が一部解消	新河岸駅東西駅前広場への乗り入れ開始（4路線）により、サービスが向上

※1 面積は、GISデータより計測したものとします。

※2 人口、世帯数は平成27年度の国勢調査人口より、500m人口メッシュデータを基にGISにより計測し算出したものとします。

※3 需要量は、平成28年度川越市地域の交通実態に関するアンケート調査「年代別の利用率」[64歳未満の利用率0.06%・65歳以上の利用率0.31%]により分析し、試算したものです。

$$\text{地区1} \quad \dots \quad \{(17,153人 - 3,888人) \times 0.06\} + \{3,888人 \times 0.31\} \quad \approx \quad 20.0人$$

$$\text{地区2} \quad \dots \quad \{(25,763人 - 6,879人) \times 0.06\} + \{6,879人 \times 0.31\} \quad \approx \quad 32.7人$$

(9) 実施地区の選定について

上述した比較表のとおり、ほぼすべての指標で地区2が上回っており、平成31年度の運行地区は、地区2を選定することが良いのではないかと考えられます。

したがって、平成31年度内に地区2における運行を開始することとし、地区1における乗降場協議を同年度内から開始し、2020年度にできるだけ早く運行が開始できるよう努めることが望ましいと考えられます。

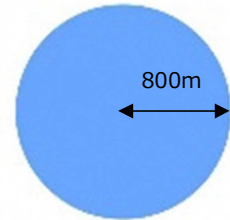
## 2-2 参考

### (1) 地区1・地区2の交通空白地域の現状

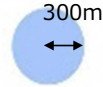
#### ① 交通空白地域の定義

川越市では、鉄道駅から半径800m圏、バス停から半径300m圏以外のエリアを交通空白地域と定義しています。

- ・鉄道駅から半径800m以上



- ・バス停から半径300m以上



#### ② 地区1・地区2の交通空白地域における人口分布の現状

地区1・地区2の交通空白地域において、1,000人以上居住している「500mメッシュ人口」が、**地区2において多く分布している**様子が分かります。

(交通空白地域の人口が多いことを示します。)

#### 【注釈】

「500mメッシュ人口」とは

平成27年度国勢調査の人口を500m四方の隙間のない網の目の地域メッシュに編成し、集計したデータです。平成29年6月に総務省より公開された最新のデータです。

